

夏 41. 万寿貝 まんじゅがい

「万寿貝（まんじゅがい）」は地方名。標準和名が「皿貝（サラガイ）」、「白貝（しろがい）」の名で全国的に流通している。ガキの頃よく食べていたことと、「まんじゅがい」を「饅頭貝（まんじゅうがい）」と思い込んでいたことを懐かしく思い出した。

当貝は、寒海性であり、日本海鳥取以北の本州・北海道、および茨城県以北の太平洋沿



岸、水深20m以浅の細かい砂または泥の海底に生息すること。あの頃食べていたのが石川県産であったと信じたいが、ここ数十年県内の漁業統計を観察し続けているものの当貝の名を一度も見ただけではない。それどころか極々稀にあさり（コタマガイ）の数字を見かける以外、二枚貝の名を見かけることはなかった。県内、長い砂浜があるにもかかわらず「なぜ、砂浜に生息している貝類の漁獲がないのか」が不思議でたまらない。一度、県水産センターに尋ねたが「不明」の旨の回答であった。きっと、大人の事情によってアンタッチャブルとなってしまったのか「生態」はあるはずである。

海産物に興味のない友人に「万寿貝知ってるか」と尋ねたら「好み」との回答。産地が何れにしても県内認知度は高い流通量も豊富。「県民食」と認定せざるを得ない。